

2016年7月8日
McLaren-Honda
NTTコミュニケーションズ

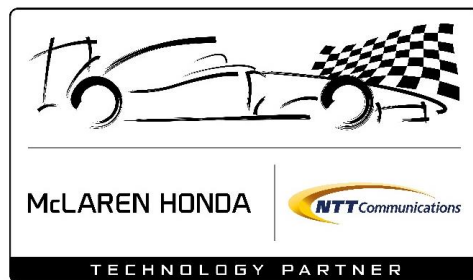
マクラーレン・ホンダとNTTコミュニケーションズ、 テクノロジー・パートナーシップ契約を締結

Formula 1 レーシングチーム McLaren-Honda (本拠地：英国、ウォーキング、以下：マクラーレン・ホンダ)と NTT コミュニケーションズ (以下：NTT Com)は、本日より3年間のテクノロジー・パートナーシップ契約を締結します。

これにより、マクラーレン・ホンダと NTT Com は、ネットワークやクラウド、IoT、データ収集や解析に係る最新の技術を用いて、Formula 1 チームを支えるために最適なパフォーマンスを持つ ICT 基盤の構築に向け、相互に協力を開始します。

その第一弾として NTT Com は、レース会場であるサーキットとテクニカルセンター間など、国を越えて飛び交うレースデータなどの収集や解析、結果の伝達などを、即時かつ確実に実行できる ICT 基盤 (ネットワーク、クラウド、NFV^{*1}、一元運用など) を、今秋より、マクラーレン・ホンダを含むマクラーレングループに対し順次提供を開始します。

マクラーレンチームは、本年 Formula 1 チーム創立 50 周年を迎えました。この新しいパートナーシップは、クラウド、モビリティ、そしてピープル・セントリックなサービスにフォーカスした新しい IT 戦略を支えるものとなります。



1. 両社からのコメント

<Chairman and CEO, McLaren Technology Group ロン・デニス>

高い技術力とブランド力を誇るマクラーレン・ホンダのパートナーに、NTT Com を招くことができとても嬉しく思います。NTT は、日本での通信サービスの提供以来、技術と共に実績を積み上げてきました。一方マクラーレンは、イノベーションと共に歩んできました。マクラーレンの絶え間ない革新のため、信頼に値する、そしてコミュニケーション技術をリードする NTT Com と、力を合わせて歩んでいきたいと思えます。

私たちマクラーレンのチームは、NTT Com が提供する、大容量のデータ通信を柔軟かつ安定的に実現する ICT 基盤により、遅延なく必要なシステムやデータにアクセスすることができるようになります。

<NTT Com 代表取締役社長 庄司哲也>

モータースポーツ界の革新のシンボルでもあるマクラーレン・ホンダのテクノロジー・パートナーとなったことに興奮しています。NTT の技術力は多岐に渡って深く、マクラーレンの卓越した成果は世の中に広く知られるところです。このパートナーシップが、両社のイノベーションの DNA の下、マクラーレンの Formula 1 レースにおけるデジタルデータ収集と活用を変革し、モータースポーツレーシング自体の革新につなげていけると信じています。

2. 今秋より提供開始予定の新たな ICT 基盤について

マクラーレン・ホンダは、Formula 1 のレース会場や走行中のレース車両などから取得される大量のデジタルデータが、より早くかつ確実に、ウォーキング（英国）の McLaren Technology Centre などを含めた世界中のデータ分析・支援拠点へ伝送される ICT 環境を必要としていました。各拠点からのデータ解析結果が、確実にレース会場へ共有され、最速で対策を実行できることは、レーシングチームのパフォーマンスにも影響します。

そのため NTT Com は、英国、スペイン、米国、シンガポール、日本などの国のマクラーレングループ拠点間を、国際ネットワーク及び NFV^{*1} サービス（Arcstar Universal One）で接続します。本サービスは、週末のレース中に、レーシングカーなどから収集し発生する毎秒大容量のデータを、リアルタイムにマクラーレンの技術チームまで伝送し、即座に分析結果をレースに反映するために不可欠なネットワークとなります。また、NTT Com は今後、マクラーレンの ICT 基盤自体の柔軟性や信頼性をエンドーエンドで向上させるため、拠点間ネットワーク（WAN）と各拠点内ネットワーク（LAN）の管理を統合していく予定です。

さらに NTT Com は、マクラーレンの事業の柔軟性や技術変革の加速に向け、多くの企業のクラウドサービスへの移行をリードしてきた知見を活かし、用途によって共有型・専有型、双方から選択できるクラウドサービス（Enterprise Cloud）と、お客さまによる、他社サービスを含め複数のクラウド基盤を一元的に管理可能な CMP（Cloud Management Platform）と共に提供していきます。

3. 今後について

両社は、マクラーレン・ホンダの Formula 1 でのパフォーマンス向上のため、先進技術の研究開発を共同で進めます。

*1 Network Functions Virtualization の略

Formula 1 チーム マクラーレン・ホンダについてについて

1963年のFormula 1参戦以来、マクラーレン・レーシングはグランプリレーシングにおいて最も成功を収めたチームです。彼らはF1を象徴するような革新的なマシンを製作してきました。

マクラーレンはサリー州ニューモルデンで発祥。ブルース・マクラーレンがFormula 1マシンのデザインや製作を行うために少数精鋭の職人を集め、彼の名前を冠するレースカーの製作を開始しました。いまでは、ウォーキングにあるマクラーレン・テクノロジー・センターに3,000人を超える従業員を擁し、チームに関わるすべての運営をここで行っています。少数精鋭から始まったのを考えると、これは信じられないほどの変革です。モータースポーツにおいてもビジネス同様の成功を収めています。

ブルース・マクラーレンが1966年のモナコグランプリでFormula 1デビューを果たして以来、マクラーレン以上に勝利したFormula 1チームはありません(182勝)。マクラーレンは50年以上に渡ってFormula 1に参戦していますが、その間にドライバーズワールドチャンピオンを12回、コンストラクターズワールドチャンピオンを8回獲得しています。その他、1967年から1972年にかけて北アメリカで開催されていたカンナムシリーズで43回も勝利し、インディ500においても1972年から1976年の間で3回勝利しています。1995年、ル・マン24時間レースにも初挑戦し勝利を収めています。

エマーソン・フィッティパルディ、ジェームス・ハント、ニキ・ラウダ、アラン・プロスト、アイルトン・セナ、ミカ・ハッキネンとルイス・ハミルトン、これらのマクラーレンの偉大なチャンピオンたちはモータースポーツにおいて伝説になっています。

2016年、マクラーレン・ホンダは2005年と2006年にワールドチャンピオンを獲得したフェルナンド・アロンソと2009年にワールドチャンピオンを獲得したジェンソン・バトンの2人のドライバー、MP4-31のFormula 1マシンでワールドチャンピオンシップに挑みます。